

雨, 大気エアロゾル粒子の研究において, 常に漸新な発想と深い洞察力にもとづいてなされてきました。これらの研究は国際にも先駆的役割を果すものとして注目を集めてきましただけに, 小野先生の突然の御逝去には無念さのみが残ります。

自然を愛し, 人々を愛し, 飛行機から雲を観たり, 大

気球を成層圏に飛ばしたり, いつも高い空に夢を馳せておられた小野先生は, 今は, もっと高い空から地球を眺めていらっしゃるのかも知れません。

御冥福をお祈り申し上げます。

(名古屋大学水圏科学研究所 武田喬男)

## 関西支部第10回夏季大会開講のお知らせ

気象予報と防災(災害)——気象と生活——

期 日: 昭和63年8月1日(月)～8月3日(水)  
場 所: 大阪市東区京橋3丁目15 大阪府立労働センター(5階視聴覚室)  
(京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」下車, 松坂屋西へ200m)

受講料: 3,000円(テキスト代を含む)

申込方法: 住所・氏名・年齢・勤務先・電話番号を明記し現金書留, 又は郵便振替で受講料を添えて申し込んで下さい。

受付後受講票をお送りします。

(郵便振替口座 大阪 8-18318 日本気象学会関西支部)

定員 100名(定員に達し次第締切ります)

申込先: 〒540 大阪市東区法円坂町 6-25

大阪合同庁舎第2号館

大阪管区気象台内 日本気象学会関西支部  
【TEL (06) 941-0341 内線 6145】

申込締切: 昭和63年7月22日(金)

主催: 日本気象学会関西支部

後援: 大阪府教育委員会, 京都府教育委員会, 兵庫県教育委員会, 奈良県教育委員会, 滋賀県教育委員会, 和歌山県教育委員会, 大阪市教育委員会, 大阪管区気象台

	午前(10時20分～12時30分)	午後(13時30分～16時)
8月1日 (月)	案 災害論(気象予報と防災の限界) ***気象災害の変遷*** 内 光田 寧(京都大学防災研究所教授)	大阪における水災害の歴史の変遷 河田恵昭(京都大学防災研究所助教授)
	午前(10時～12時)	午後(13時～16時)
8月2日 (火)	予報実習(天気図から何を読取るか) 池田 浩, 山本二郎(大阪管区気象台予報官)	
8月3日 (水)	折々の注意報(注意報からみる暦) 中島 肇(大阪管区気象台予報官)	気象台見学(注)異常気象の場合は翌日に順延するが, 中止の場合もある